（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年 10月 21日 (19:00～20:30)
1．初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	五十嵐重明、佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、斎藤麻佑、阿部由佳、荒生稲子、榊原順治、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0人	6人	4人	0人	10　人

前回の改善計画

新規利用を開始してから一か月を目途にカンファレンスを開催する。
カンファレンスで「アセスメント表」と「ケア記録一覧」を確認し、「アセスメント表」に手書きで修正する。修正した「アセスメント表」は「利用者個別援助一覧表」作成に活用する。
初期支援時の必要な情報は引き続き「アセスメント」項目内容とする。（食事、入浴、排泄、移動、医療、精神など）

前回の改善計画に対する取組み結果

利用開始前のアセスメント表で情報共有し、何を目的とした利用なのかを明確にされている。
利用開始前に回覧されたアセスメントの情報を共有し、初期支援で得た情報は入力できている。
毎木曜日実施となっているケアカンファレンスが予定通り行えていない。
再アセスメント作成など最新情報の記録不足。⇒（理由）ケア記録には残すよう努めているが、再アセスメント作成の時間を確保できないため、今後ケアマネ2名で修正時間を作っていく。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	7	1		10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	7	1		10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3	7			10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	6	2		10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

毎日の昼の申し送り時に時間を掛けて様々な確認を行っている。
②基本情報やニーズなどは申し送り時、会議録などで職員間で情報共有しており必要な支援をおこなえている。
②利用者、家族の思いと利用目的を理解したうえでの支援ができている。
③笑顔での声掛けを行い、体調の不調や困ったことがないかなど聞くようにしている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

＊全職員配慮しながらサービスを行えている。行えていないのであれば他職員の目につき都度指摘されているはず。遠方家族への近況連絡を行う。
③慣れていない時期の通い利用時にあまり関わりを持つことができなかった。⇒（理由）他の担当業務もあることで関わる機会自体がないこともあったため。
④不安を発信できない家族に対し、こちらから発信できるような声掛けが不足していた。⇒（理由）自宅にいない家族との関わりが薄くなってしまっているため。
④関係作りのための配慮不足。⇒（理由）具体的な配慮の仕方がわからないため。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

カンファレンスを毎週木曜日に計画的に実施するため、月間業務分担表に担当者を記録する。A勤務職員が事前に資料準備と進行を行う。D勤務職員がカンファレンス記録を行う。
カンファレンス内容は、新規の情報共有、ケアプラン内容確認、業務やサービス支援等の改善の提案。

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年 10月 21日 (19:00～20:30)
2.「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	五十嵐重明、佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、斎藤麻佑、阿部由佳、荒生稲子、榊原順治、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0人	5人	2人	3人	10　人

前回の改善計画

意見箱やアンケートの実施などで「～したい」の希望と要望の聞き取りを行う。
本人、家族へ趣味や好きな事等を聞き取り、在宅生活の継続に向けて取り組んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果

関わりの中で「～したい」や好きなことを聞き出すようにしている。
本人と話をして若いときの話や趣味、生い立ち、家族の話をよく聞いている。
利用者同士で関わりを持ち、活動していると感じる。多機能かたばみに来て皆と過ごすことが目的となっている方もいるのが良いと思う。
意見箱の活用、アンケートの未実施。⇒（理由）計画倒れのため。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	6	2	1	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	6	2	1	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	4	4	1	10
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	1	6	2	1	10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

＊前年に比べて申し送りに時間を掛け共通認識に努めている。
②ケアプランを確認することで、本人の目標を情報共有できている。
②本人の気持ちを理解し、それに寄り添うよう努めている。
④関わった内容や特変時の様子などのミーティングでの発言、ケア記録への記録が行なわれている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

＊業務の中には本人の「～したい」が含まれている。日々の暮らしの中で本人のしてほしい事を支援することが基本ではないか。しなければならない業務なくして、個別支援活動や、夢、希望の実現はないのではないか。（例：失禁のままで行事への参加はない）
②全体的にまだ情報が足りず、それに向けての行動も少ない。⇒（理由）業務に追われ「～したい」への支援が難しいため。
②自分から発言することの少ない方の「～したい」を引き出し切れていない。利用者それぞれの「～したい」に合った関わりが全利用者にはできていないような気がする。⇒（理由）自身のコミュニケーション能力不足のため。
④タイミングもあり、ミーティングでの発言や振り返りなどができなかった。
③コンスタントな個別活動への支援不足。⇒（理由）業務を優先してしまい、個別支援ができないことがあるため。
③全員が全員活動していないのは人それぞれで良いが、活動ツールの提供は足りていないと感じる。⇒（理由）ホール対応に関われる時間の確保が難しいため。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

個別支援活動を利用者本人が行えるように色鉛筆など自由に手に取れる環境を整備する。

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年 10月 21日 (19:00～20:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	五十嵐重明、佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則 佐藤美紀、相蘇亮、斎藤麻佑、阿部由佳、荒生稲子、 榊原順治、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0人	0人	8人	2人	10 人

前回の改善計画

利用者全員のエコマップに以前の暮らし方の把握として10個以上を記入する。
（毎年できていないのチェックが4割くらいある為、対策とする。）

前回の改善計画に対する取組み結果

エコマップへの記入、知り得た情報の更新ができなかった。「以前の暮らし方」10個のエコマップへの記入ができなかった。⇒（理由）エコマップ自体が日常的に有効活用されていないため必要性を感じづらいため。日常的な活用ではなくアセスメントや必要時の確認として有効とする。初期支援時には情報がたくさんあるが、長い期間利用することで情報は少なくなってくる。情報が身に成り支援に厚みが増していく。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10 個以上把握できていますか？		5	3	2	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	5	1		10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		8	1	1	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	7			10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	8			10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

＊小さな環境、小規模ケアにより利用時の変化に気付け、都度対応を相談していける。
②利用者に合わせた支援はできている。基礎的な介護はできている。
④利用者へ寄り添い傾聴し関係性を作り上げ、気持ちの変化にも気付けるように関わっている。利用者の気持ちの変化や体調、行動などの共有ができている。
⑤本人が普段と違う表情や行動を取った時は、不安を払拭できるような支援をしている。本人の状態に合わせた支援とアセスメントができている。特変時の様子を情報共有し、必要な対応が行われている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

＊職員全員が10個以上の多くの情報を持っています。10個に捕らわれることなく日々の支援、改善、向上を目指していく。
①関わっている中で「以前の暮らし方」を聞く意識が薄いため。「以前の暮らし方」を10個以上は把握できていないが、本人の生活歴はアセスメントを通して理解している。独居である、家族が遠方であるなど、情報源となれる方の数があまりないことも理由の一つと思う。
①個人の生活歴の把握。⇒（理由）どこを確認すればよいのかわからない、情報が少ないなどにより。また、普段の業務で手一杯な部分があったため。
①本人の「以前の暮らし方」や「本当の声」を聞いていない。⇒（理由）異動して来て日が浅く、まだ関わりがよくできていないため。
③本人の声にならない声をチームで言語化できていない。⇒（理由）まだ信頼関係が構築されていない利用者に対し、どこまで踏み込んでよいのか迷ってしまい気付きが遅れることがある。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

業務の分別（してはいけない事。しなければならない事。やりたい事。）を都度見直し、大切な業務をしっかりと行っていく。

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年 10月 21日 (19:00～20:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	五十嵐重明、佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、斎藤麻佑、阿部由佳、荒生稲子、榊原順治、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	9人	0人	0人	10 人

前回の改善計画

家族に確認すべき事を申し送り内で相談する。送迎職員等が聞き取り報告する。
支援に必要な情報（アセスメント様式など）を家族から聞き取りすること。（聞き取りの際は、プライバシーの侵害に繋がらないようにする）

前回の改善計画に対する取組み結果

家族に確認すべき内容はミーティングで確認され、聞き取りを行った後はケア記録に反映されている。
申し送り時などに利用者の気になったことを職員間であげ、送迎時に家族と情報共有している。
家族には荘での様子を伝え、必要な支援を情報共有している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	6	3		10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		9	1		10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		4	6		10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		6	3	1	10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

＊必要な情報があった際に、送迎や訪問、電話などで確認している。
②在宅生活継続のための支援ができている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

＊異動などで毎年情報が少ない職員が経験年数によりベテランになっていく。 地域資源とは、本人家族が生活の中で使用しているもの全てが資源となります。
①これまでの生活スタイル、人間関係を把握していない。⇒（理由）送迎時に家族がいなかったり、いても話をする時間が持てないため。
①利用者の生活スタイルや人間関係への理解不足。⇒（理由）どこから情報を得ればよいのか分からないため。
③訪問のみの利用で、訪問時間10分間ほどでは本人がどのように過ごしているのか全体を把握するのは難しいため。
④新たな地域資源の提案。⇒（理由）自身の知識不足、想像力不足のため。
・地域資源をもっと把握し、活用すべきであった。
④本人の暮らしに必要な地域資源の活用について、ケアマネージャーはおこなっていると思うがケアワーカーはできていないと思う。⇒（理由）民生委員の役割やどのような地域資源があるのかの勉強不足のため。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

本人家族の了承を頂き、近隣や民生委員の皆様へご挨拶と、事業所でサービス利用していることをお伝えする。地域からの相談や必要時の連携へと繋げていく。

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年 10月 21日 (19:00～20:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	五十嵐重明、佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、斎藤麻佑、阿部由佳、荒生稲子、榊原順治、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0人	3人	3人	4人	10 人

前回の改善計画

申し送り時にデスクにエコマップを開き、支援に必要な得た情報を記入していく。
エコマップとは、本人の生活地図。情報を得る為の取っ掛かりになる物。情報を「見える化」し、支援の為の情報を誰から何処から確認できるのかが一目で分る物。

前回の改善計画に対する取組み結果

エコマップを活かせてはいないが、エコマップで関係性を確認できている。
申し送り時のエコマップの活用不足。⇒（理由）カンファレンスの際はエコマップが活用されているが、日々の申し送り時となると誰が記入するなど不明瞭な部分があるため。また、新規利用者についてエコマップの作成が追い付いていない。初期支援時の取っ掛かりの情報として使用していく。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		7	2	1	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	5	1		10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	6			10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5	5			10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

＊近隣の方、民生委員、親類、市、包括支援センター、配食サービス等の支援を行っている。
②ニーズに沿ったサービス調整や、特変時の情報共有とそれに合わせた支援の検討ができている。多機能の特徴を活かした支援ができている。
③ミーティングなどで共有した本人の変化に注意して行動、声掛けをおこなっている。
④ニーズに合わせた支援をおこなえている。その日の本人や家族の状態から「通い」「宿泊」への変更などができている。自分で判断できないところは周りに聞きながらできている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

＊本人のニーズは個別支援だけとは限らず、排泄・食事・入浴等での希望に対応していること周知する。
①コロナ禍により、以前に比べて外出行事の機会が減っているため。
①地域資源についてよく理解していないため。
④一人一人に合った個別活動の提供といった柔軟な支援不足。⇒（理由）準備が不足しているため。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

多機能職員が、本人の身体状況や家族からの随時の相談を受け判断して、通い・宿泊・訪問サービスの調整を行えるようになる。

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年 10月 21日 (19:00～20:30)
6. 連携・協働	メンバー	五十嵐重明、佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、斎藤麻佑、阿部由佳、荒生稲子、榊原順治、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	6人	1人	2人	10 人

前回の改善計画

サービス担当者会議、運営推進会議等へのケアワーカーの参加。
事前に会議録への必要事項の記入と、申し送り時の確認を行い、現場目線での支援情報を獲得していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

サービス担当者会議へのケアワーカーの参加はできている。
管理者からの要請があればサービス担当者会議にケアワーカーが出席している。
感染予防対策をしながらサービス担当者会議などはなんとかしており、必要時に参加している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	3	3	3	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	2	7	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	1		8	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	1	8	10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

コロナ過の中、都度感染予防対策しながら会議開催や文書での開催への対応している。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

＊法人による感染予防対策委員会を定期的に開催してコロナ禍での実施を都度検討していく。
①コロナ禍での影響と、会議に2名以上の職員が出席すると現場支援に影響するなどの物理的問題により。
③コロナ禍により他者との関わりが難しい状況があったため。
③各種団体の活動、イベントに参加できていない。⇒（理由）コロナ禍で活動、イベントが中止になっているものがあり参加できないため。
④地域活動やボランティアの受け入れなどは感染予防対策から実施していなかったため。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

コロナ禍の状況を判断しながら、多機能職員がサービス担当者会議、運営推進会議へ参加をしていく。

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年 10月 21日 (19:00～20:30)
7. 運営	メンバー	五十嵐重明、佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、斎藤麻佑、阿部由佳、荒生稲子、榊原順治、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	5人	2人	2人	10 人

前回の改善計画

小規模多機能型居宅介護サービスを、本人、家族、相談者に説明できる職員になる。
「法人理念」「契約書」「重要事項説明書」「多機能かたばみ荘活動計画」「利用案内の説明事項」を確認する。
職員は、本人、家族、相談者へ「多機能とは」「利用料金」「契約の内容」などの質問に説明できる。

前回の改善計画に対する取組み結果

小規模多機能の特徴を理解して、利用者家族に提案できる。
できている職員を見習って、徐々に多機能のサービスを理解し必要時に説明おこなっている。
10/21事業所自己評価の会議時点では、職員が理解、周知の確認作業がおこなっておらず今年度中に行っていく予定。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	5	2	1	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	7	1	1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		7	2	1	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		5	4	1	10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

＊苦情への対応は都度申し送り時に確認と改善、改善内容の報告している。
②利用者、家族から意見や苦情があった際は、情報を共有し対策を考えている。
②意見や苦情に対し、すぐに対処するように職員間で話し合い対応している。
④多機能施設かたばみ荘の広報を発行している。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

＊コロナ禍への対応を行いながら、窓口への来訪者への対応している。
③地域の方の意見や苦情が聞かれていない。⇒(理由)コロナ禍で地域の方と話し合う機会がないため。
④コロナ禍の影響により地域と協働する機会が少なかった。

次回までの具体的な改善計画　(200字以内)

窓口へ相談に来る方へ「利用案内・利用手引き・多機能通信」等書類を、すぐに手渡して説明できる環境を整備していく。

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年 10月 21日 (19:00～20:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	五十嵐重明、佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、斎藤麻佑、阿部由佳、荒生稲子、榊原順治、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0人	6人	3人	1人	10 人

前回の改善計画

一人業務時間帯で落ち着いて緊急時対応を行うために。
体調不良・事故・緊急時リスクマネジメント・コロナウイルス感染対策の内部研修の計画実施。

前回の改善計画に対する取組み結果

内部研修が年間計画通りに実施できていない。⇒（理由）年度以外の異動に絡み同職員が事務作業を抱え過ぎて手が回らないため。業務分配の見直しが必要。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		5	4	1	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	4	4	10
③	地域連絡会に参加していますか			1	9	10
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1	7	2		10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

＊ZOOM対応の研修も増えてきており参加可能になってきている。
①職場内で計画された研修には参加している。
①動画などを活用して研修に参加している。
②資格更新研修だが、質の保持向上のためになっている。
④インシデント・アクシデントは記録に残し、対策などを検討し再発予防に取り組んでいる。
④フローチャートに基づいた緊急時対応ができている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

＊研修資料を回覧し職員の確認出来る様にしている。
②研修への参加が積極的ではなく受け身になっている。
②スキルアップのための研修に参加していない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

「多機能かたばみ荘発表会」を計画して組織全体のスキルアップに繋げていく。

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年 10月 21日 (19:00～20:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	五十嵐重明、佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、斎藤麻佑、阿部由佳、荒生稲子、榊原順治、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	4人	5人	1人	0人	10　人

前回の改善計画

尊厳とプライバシー、個別支援の理解を深める。
業務優先から、職員側の都合から、不快な思いをさせない。尊厳とは？プライバシーとは？個別支援とは？を勉強していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

尊厳を常に念頭に置き、声掛けや支援をおこなっている。
利用者本人の人権、プライバシーを第一に考えている。
その人らしさを尊重して支援にあたっている。
利用者の尊厳を尊重した当たり前であるべき支援ができているが、時にハッとして間違いに気付くことがある。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	9	1			10
②	虐待は行われていない	9	1			10
③	プライバシーが守られている	7	3			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	4		4	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	3			10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

人権の尊重、尊厳の理解に関わる事案に対応相談している。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

＊成年後見制度の必要時には各機関に相談しながら対応していく。
③必要としている方がいないため。
・成年後見制度についての自身の理解不足のため。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

日頃から自身に置き換えて利用者への支援を行っていく。申し送り内で改めて「尊厳、プライバシー、虐待と拘束」について共有をしていく。